

滋賀国スポ・全国障害者スポーツ大会 開催延期による影響を緩和するための 支援の充実

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



- ▶新型コロナウイルス影響下における新たな国スポ・障スポ大会のあり方検討や感染症対策、本県の両大会延期に伴う経費増加、影響を受ける選手への支援を図りたい。
- ▶スポーツ施策推進やスポーツ施設整備等のための支援の充実を図りたい。

1. 提案・要望内容

【提案・要望先】総務省、財務省、文部科学省

両大会開催延期による影響を緩和するための支援の充実

- 新型コロナウイルス影響下における新たな大会開催のあり方を検討すること
- 感染症等に伴う両大会の延期についてのルールを定めるに当たっては、本県に影響が及ばないように日本スポーツ協会等と共に検討すること。
- 両大会延期の影響についての財政支援を拡充・継続すること。特に、延期の影響を受ける選手や競技団体に対し、令和6年開催の佐賀国スポへの予選免除による出場や、スポーツ振興くじ助成金の適用拡大等の対応策を講ずること。
- 国民体育大会施設基準および各競技団体の競技規則の弾力的な運用を日本スポーツ協会・中央競技団体へ指導すること。
- 両大会運営費に対する支援の充実と財源の確保を行うこと。
- 両大会の開催にかかる施設整備について、財源の確保、地方債の充当率の嵩上げ、元利償還金に対する地方交付税上の措置の拡充など、支援制度の充実に向けた検討を行うこと。
- 2024年のパリオリンピック・パラリンピック等に出場されるトップアスリートの滋賀国スポ・障スポへの出場など大会の盛り上げに向けた協力を行うこと。

<スポーツ庁の概算要求等の状況>

○国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催補助 816百万円 (R2: 543百万円)

2. 提案・要望の理由

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く可能性を考慮し、式典、参加者数、競技実施方法等の見直しを含む両大会全体のあり方の検討が必要。また、安全・安心な大会運営を図るため、感染症対策に当たって、国による財政支援などの対策が必要。
- 本県の両大会延期に伴い、開催経費が増加するほか、2024年に照準を定め、強化に取り組む選手、とりわけターゲットエイジの選手への影響が非常に大きい。
- 開催県および市町の負担軽減のため、国民体育大会施設基準、各競技団体の競技規則の弾力的な運用が必要。
- 各地方におけるスポーツ推進のため施設整備や人材育成などは、国全体で取り組むべき喫緊の課題であることから、スポーツ施設の整備・充実にあたって国による支援が不可欠。
- 学校施設環境改善交付金では、ラグビーワールドカップレガシー創出のためのメニュー追加で令和元年度に当県の施設整備で採択いただいたが、今後、配分金総額の増額や対象施設の拡充など、地方の特性やニーズに応じたより実効性の高い支援制度への拡充が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 両大会開催に向けた取組状況および今後の予定

○長年、2024年開催を目標に開催準備や選手強化を図ってきたが、開催が1年延期となる。

【大会愛称・スローガン】



【ターゲットエイジ強化選手
指定証授与式 (R1)】

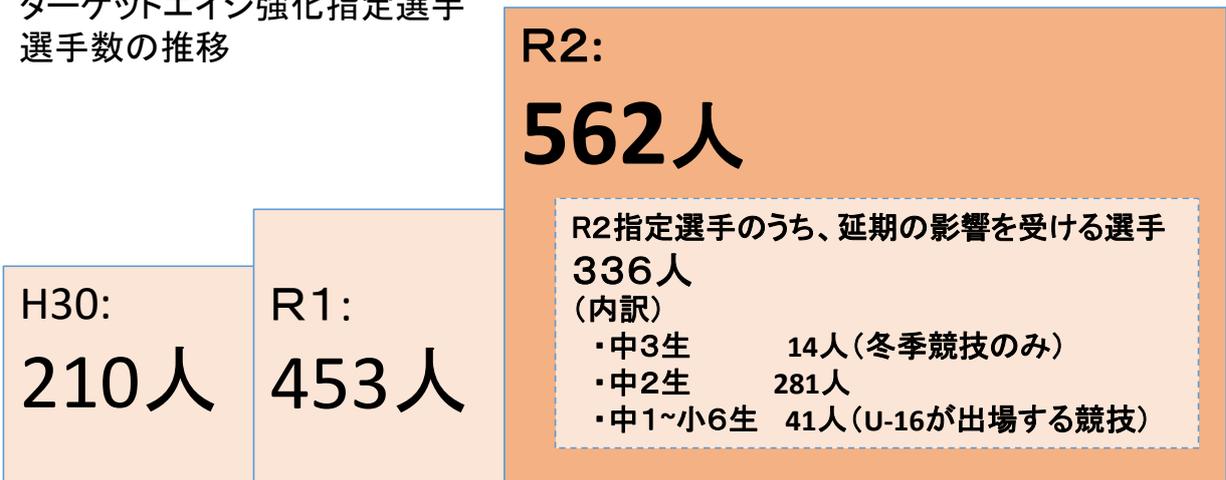


【ターゲットエイジ強化選手
(セーリング競技) (R2)】



○ターゲットエイジ重点強化事業 (H29～：選手指定は H30～)

ターゲットエイジ強化指定選手
選手数の推移



(2) 国民体育大会施設基準・各競技団体競技規則の弾力的な運用

○中央競技団体正規視察において下記の指摘を受けているが、柔軟な対応をお願いする。

競技名	中央競技団体正規視察における指摘事項等
サッカー	・少年男子・準々決勝以降の試合における人工芝使用不可
カヌー(スプリント)	・競技規則に定められた水深1.5mの確保
ライフル射撃(CP)	・標的回転速度(0.3秒)の確保
テニス	・照明設備の確保
バレーボール(ビーチバレー)	・施設基準(練習会場1面)以上の練習会場の2面確保
ソフトボール	・1種別2面のうち、1面は照明を設置(仮設可)
軟式野球	・両翼までの距離(91m以上)不足への対応 ・内外野の段差解消

担当：文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課
総務企画係 TEL：077-528-3321